

# 阿南市立大野小学校 「学力向上実行プラン」

基礎・基本の確実な定着を図り、「生きる力」を身に付けた子どもの育成  
～つながろう言葉の力で 続けよう家庭学習～

学力向上推進員 岩倉 和代	委員	校長・総括	早川 和美
		教頭・総括補佐	福島 浩三
		教務主任	枝川 弘明
		研修主	小川 英子
		特別支援コーディネーター	松岡 沙知子

校長  
早川 和美 印

### (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 国語科の「言語事項」領域・算数科の「知識・理解」の領域については一定の成果が見られる。漢字の読み書きや音読・計算などの力が向上してきた。	①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ②読書に親しみ、豊かな言語力が身に付いている。	国語テストや算数のテストで平均正答率80%以上			
課題 初読の文や長文を読むことに抵抗がある児童が多い。 字形を整える意識の低い児童、既習漢字を適切に使用して文章を書くことに課題のある児童が見られる。	①学習環境や学習規律を整え、ノート指導を充実させる。 ②「こども鳴潮」や視写ノートの活用、計算練習の時間の確保を継続的に行ったり、国語辞典や漢字辞典を調べることを習慣づける。 ③学年末に漢字検定・算数検定を実施し、定着度を確認する。	①週1回以上ノートを点検 ②毎週末の宿題の点検やミニテストの実施 および辞典の使い方指導 ③1月、漢字検定・算数検定の実施		評価	次年度における改善事項

### (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 発表の方法や手順がわかる学習に関しては、意欲的に発表し、真面目に取り組む。	①思考ツールを使って考えたり判断したりすることができる。 ②自分の言葉で、考えやその理由を話したり書いたりすることができる。	児童アンケート「自分の考えや思いを話したり書いたりすることができる」の割合を80%以上			
課題 自分の考えを文章に書いてまとめたり、順序立てて説明したりすることに課題がある。	①フリートークやホワイトボードミーティングなどの話し合い活動を充実させるとともに、全ての教科において、自分の考えを表現させる時間を設ける。 ②デジタル教科書やタブレット等を積極的に活用する。	①自分の考えを筋道立てて発表する機会を1日に1回以上 ②研究授業を1人1回以上		評価	次年度における改善事項

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 落ち着いて生活し、課題や自主学習に意欲的に取り組もうとしている。	課題や自主学習に進んで取り組んで目標を達成する喜びを感じるとともに、学ぶ楽しさを感じることができる。	低学年40分、中学年50分、高学年60分の家庭学習時間の達成割合が80%以上			
課題 学習用具の忘れ物がある。 家庭学習の時間が少ない。 難しいと思う課題を避ける傾向があり、最後まで諦めずに取り組もうという意識に乏しい。	①授業に直接体験を取り入れたり、ICT等を使ったりして楽しい授業を行い主体的に学習に取り組む意欲をもたせる。 ②毎時間、学習のめあてとふり返りを確認し、自己評価力をつける。 ③各学級で家庭学習の目標を決め、できたら賞賛する。 ④モジュールで選択制のプリント学習を行う。	①自主勉強リレーノートを継続的にする。 ②学習のめあてとふり返りの確認を毎時間する。 ③忘れ物カードを毎日保護者に確認してもらう。 ④月に1回以上行う。		評価	次年度における改善事項

## 令和元年度 学力向上ロードマップ

